

東京経済大学報

2019年度 第52巻 10月臨時号



第120回 葵祭
大葵晩成

2019年11/1・2・3
(金) (土) (日)



特集

一歩前へ その先にあるグローバルチャレンジ

コラム

- 教員リレーコラム 私の★研究
- 学生コラム・留学生コラム ほか

NEW

- 東経大で出会った「生涯の師」への手紙



一步前へ その先にあるグローバルチャレンジ

4年間の大学生活の中で「これはやってみたい」ということは何でしょうか。

本学の前身である大倉商業学校の創立者、大倉喜八郎はグローバル社会で活躍する人材の育成に力を注いできました。この伝統を踏まえ、本学では学生皆さんの夢や目標を後押ししています。

今回はグローバル化を進める本学の取り組みについて派遣留学制度を中心に紹介していきます。

1

一度は海外へ行ってみよう

資格取得やインターンシップ、就職活動の準備を早めにしておきたいなど、どうしても「留学」の優先順位は下がってしまいがち。

「海外ゼミ研修」「短期海外語学研修」を利用すれば、1～3週間程度の短い期間で海外での学びを体験することができます。どちらも補助金が支給され、渡航先によって4万円もしくは7万円の補助があります。



2

半年なら頑張れるかも

「単位は順調、でも1年も留学する自信はない」という方へお勧めするのが、語学を中心に学ぶ半期留学制度(2017年度新設)。年々利用が増えていきます。アメリカやオーストラリア、ニュージーランドで約半年間英語を学ぶ方が多いです。

2017年度
半期留学7名
1年留学2名

2018年度
半期留学8名

2019年度
半期留学9名
1年留学2名



3

留学先(国)はどうやって決めればいいの?

自分にとっての優先順位を考えてみましょう。留学費用が安い、自然が大好き、寮に住みたい、日本との時差が少ない、ニューヨークが憧れ等々。留学経験者の体験談を聞くイベントも開催しています。



4

とはいえお金が一番の問題

留学にはまとまった費用がかかります。大学の制度を使って行く協定校留学(半期・1年留学)の場合は、在学したまま渡航するため、本学への学費も通常どおりかかります。この学費二重負担を避けるために「国外留学生奨学金」制度があります。これは本学学費を上限に留学先学費(授業料)を奨学金として支給するものです。つまり本学学費+αを納めれば留学できるようになります。



5

知っていましたか? 頑張る人に! 「折元奨学金」

優秀な学生に海外へ出て学んでもらいたい、という願いのもと、「120周年記念留学支援折元奨学金」をスタートしました。これは留学先での生活費の一部を補助するもので、留学先が欧米・オセアニア圏の場合は月額8万円、アジア圏の場合は月額5万円を給付します(返還不要)。

申請のためにはTOEFL iBT40以上もしくはIELTS 5.0以上が必要です。これを目標に掲げ、計画的に学習している人もいます。ぜひチャレンジしてみてください。



6

受けてみよう「留学相談」

留学してみたいけれど何から手をつけたいのかわからないという方へ、国際交流課(6号館2階)では留学相談を随時受け付けています(1人あたり約15分)。学習センター(6号館2階)に常駐している英語学習アドバイザーとの面談や相談も可能です(1人あたり30分・要予約)。



留学経験を生かして キャリアスタート!



遠藤 貴太さん
現代法学部 4年
越谷西高校出身

内定先

(株) ANA Cargo

留学先

西シドニー大学 (オーストラリア)

期間

2019年2月～2019年6月

留学とは、ただ単に学問における学びを深める事だけではありません。海外での生活を通して世界中の人々と出会い、新たな文化や価値観などに触れることで、自身の人間力を総合的に高めることも可能です。

私は留学を経て「日本と比較したその国の良さ」を知ると同時に、「海外から見た日本の素晴らしさ」にも気づかされました。これをきっかけに日本の良さを世界中の人々に伝えていきたいと考えるようになり、将来の進路を検討しました。就職活動では、留学で習得した語学力を始め、年齢・国籍を問わず誰に対しても臆することなく自分の意見を述べる力やコミュニケーション能力、その場の状況に合わせて対応する力などが役に立ちました。留学での様々な経験がなければ就職活動は成功しなかったと思います。

学びの観点は人さまざまです。私は留学というきっかけから学びを深めました。全く予想もしなかった事と出会い、そこから学ぶことに一番の面白さがあるのが留学である、と私は思います。





コトパティオ
コーディネーター

ジェフ・ハッシュ氏に話を聞きました

コトパティオ開設から4年が経ちました。開設当初から運営のコーディネートをしてこられたことが、振り返っていかがですか？

学生の入学時から卒業までの成長を見てきました。コトパティオに来始めた頃は、緊張もありふざけてしまう学生もいましたが、その後だんだんと努力するようになりました。コトパティオ内は「No Seniority」です。これが心地よいと思う学生には馴染みやすい場所なのです。

開設当初は利用者が少なかったのですが、2017年には英語でボードゲームをする独自のグループができたり、学生同士英語で会話や議論をしている様子が見られるようになりました。代行で来た講師に「授業でもないのに30人もいるなんて驚いたよ」という感想を聞き、嬉しく思いました。

現在は、クリス(クリス ミスロ氏)とジョエル(ジョエル トムリンソン氏)と共に運営をしています。二人とも英語教育に長く携わっており、日本人に対する教え方も熟知しています。今後もそれぞれの個性を生かしたワークショップやイベントの開催をしていきたいと考えています。また、コトパティオの理想は、より一層の「student ownership」にあります。英語をはじめとする外国語を駆使したコトパティオの活用をさらに求めていきたいと思っています。

学生へメッセージをお願いします。

The only way to become a better speaker of any language is to speak. There is no judging and no criticizing of English level at Cotopatio. Students support each other! There is no pressure, so just come in and have a chat, have a laugh, and have a pancake!

(概要：言葉をよりよく話す唯一の方法は「話す」こと。コトパティオでは英語のレベルについて評価しません。学生同士が支えあっています。緊張せずにまず入ってみて！笑ってパンケーキでも作りましょう！)

Geoff Hash

(ジェフ・ハッシュ)
アメリカ合衆国ニューヨーク州出身

I used to live in New York City, where I worked with the subway company by day and played music at night. I love music, sports, science, and EATING! How about you?

コトパティオ
学生スタッフ

コヘウオン

高慧媛さんに話を聞きました

スタッフになったきっかけは？

日本に留学する前から韓国語を教えてみたいと思っていました。渡航前に問い合わせをしたところ、コトパティオで韓国語を教えることができると知りました。

一度に3人～7人の学生が集まることもありますが、レベルが違う学生を同時に教えるのは大変ではありませんか？

来て下さる学生さんは皆優しいので、楽しんで教えています。わかりやすく教えられていると良いですが…。皆さんと仲良くなり、一緒にカラオケや新大久保へ出かけることもあります。

どんな教材を使っていますか？

K-Popが好きな学生さんが多いので、K-Popの歌詞を訳してみたり、応用して会話をしたりしています。



高慧媛さん
(コヘウオン)

極東大学
(韓国協定校) 日本語学科3年
2019年4月～2020年2月まで交換留
学生として在学中
ハングルアワー担当

昼食をとりながら参加O.K.

多言語アワーでは、中国語・韓国語・ベトナム語の基礎表現を学びながら、「言葉」の背景にある文化や習慣、現状などを日本語も織り交ぜて説明しています。「言葉」を通して留学生の話聞くチャンスです。気軽に参加してみてください！

多言語アワーのスケジュール (月～金曜日 12:00～13:00)

月曜日	チャイニーズアワー	経済学研究科2年 李冬梅さん
火曜日	ハングルアワー	交換留学生 高慧媛さん
水曜日	ベトナムーズアワー	経営学部3年 ヴーミーゴクさん
木曜日	チャイニーズアワー	経済学部4年 ヴンカーウエンさん
金曜日	ハングルアワー	交換留学生 高慧媛さん

「日本語プレゼンテーション発表会」を開催しました

2019年7月12日(金)、東京経済大学に在学中の短期留学生が授業で学んだことを日本語で発表する「日本語プレゼンテーション発表会」を開催しました。冒頭に久川伸子全学共通教育センター准教授(留学生アドバイザー)が開会の挨拶を行い、続いて短期留学生たちが本学で学習した科目や、その成果について報告しました。

留学生たちは、関心を持っている日本企業、日本文化や特定の県について調査し、日本語を駆使してプレゼンテーションを行いました。発表者のひとり「半夏生」について、その意味と風習を紹介しました。半夏生が属する「雑節」とは、日本で生まれた季節の目安となる日であり、物忌みの日であることを丁寧に説明しました。

当日は留学生向けに日本語の授業を担当した教員や日本人学生も参加し、発表を見守りました。プレゼンテーションを行った留学生たちは「発表の準備中、迷うことがたくさんあったが、先生やチューターの協力のもとで、発表の準備を終えることができました」「発表の準備を通して日本文化を深く理解し、調査、データ整理などの経験も豊富になり、多くの新しい知識を得られました」などと振り返りました。

留学生たちは皆「日本での生活は楽しい。もう少し日本で過ごしたい」などと話し、日本での充実した時間を過ごした様子が伺えました。



留学生アドバイザー・久川伸子先生よりメッセージ

Message

短期留学生向けの日本語の授業は、日本語力向上と多文化理解に重点を置いています。今回の発表会では留学生たちの成長を実感することができ、大変嬉しかったです。また、当日参加した本学の学生からは、「自分も海外へ行ってみたいになった」「私も留学する予定なので、刺激を受けた」「他国で一生懸命勉強する姿に刺激を受けた」など、国際交流や留学に対して積極的なコメントが多く寄せられました。

国際交流は、新鮮な驚きや向上心への刺激を得られる貴重な体験の場です。留学生は、日本の学生との交流を強く望んでいます。学生の皆さんには、国際交流チューター制度やコトパティオを利用し、キャンパス内の留学生と気軽に交流してほしいと思います。

留学生コラム

『東経大での 学生生活と将来の夢』

トウエッタクサン
LE THWE Thet Htar San
経営学部2年

子どもの頃から日本に憧れ、日本へ留学したいという夢がありました。母国であるミャンマーの高校を卒業後、半年ほど日本語の勉強をしてから日本へ留学しました。当初は建築について学ぼうと思っていたのですが、色んな勉強をしていく中で興味を抱くようになった「経営」を学ぶことにしました。そのような中、日本語学校の担当の先生から東京経済大学を勧められ、受験することを決めました。一生懸命に勉強して合格することができました。

東経大に入學したばかりの頃は、日本語の授業が非常に難しく、あまり友達もいなかったため、諦めたいと考えたこともありました。しかし、徐々に大学の生活にも慣れ、日本人の友達もでき、毎日を楽しめるようになりました。

1年生の時に最も苦しんだのはレポートでした。漢字がとても難しかったです。一つのレポートを完成させるのに時間がかりましたが、日本人の友達や、同じ留学生の友達に助けを求めたので、次第にレポートへの苦手意識が減り、スムーズに書けるようになりました。また、1年生の後期は学習チューターのサポートを受けました。

(学習チューター…東経大の学生が留学生の学習や生活のサポートをする制度) 毎週金曜日、3年生の先輩が1週間の授業でわからなかった内容をもう一度説明してくれたり、レポートもチェックしてくれました。勉強が非常に楽になり、とても助かりました。様々な困難に直面する場面がありましたが、新しいことにチャレンジし、多くの出会いもあった1年間でした。

現在は、ビジネス日本語能力テスト(BJTT)で高いスコアを取るために頑張っています。またTOEIC試験で800点以上を取得するための学習も続けています。卒業までの間、日本で大学生活を送りながら自分の世界を広げ、より多くの挑戦を続けていきたいと思っています。

卒業後は日本で就職して経験を積んだ後、ミャンマーへ戻り、日本での勉強や経験を活かして起業したいと思っています。今はミャンマーに多くの日本企業が進出しているため、日本語が使えればとても役に立ちます。日本とミャンマーの懸け橋となれるように頑張ります。



私の★研究

現代法学部 教授

野村 武司

研究における出会いときっかけ



私の研究生活において、「出会い」はいろいろな意味で「きっかけ」になっている。

始まりは、大学生の頃である。ふとしたことから堀木訴訟弁護団との出会いがあった。盲目の堀木さんが、児童扶養手当の、障害福祉年金との併給禁止規定の違憲性を争った事件である。後者は障害を補うためのもので、なぜこれを受給すると前者がもらえなくなるのか？極めて真つ当な問いである。最高裁大法廷に、車椅子用のスロープがつけられ、はじめて盲導犬が入った。私にとってはいろいろな人と出会うきっかけでもあった。しかし、どうしても解けない問いがあった。それが、私が研究者を志したきっかけである。

二つ目の出会いは、日本が子どもの権利条約を批准する直前のことである。この条約は、報告審査制度に支えられており、批准したあとどう実施するかがむしろ重要である。日本が条約を批准した場合、国・地方それぞれのレベルで何が課題になるのか、そして何をすればいいのか、行政法学者としてその意見をもらいたい。そんな課題が与えられた。これが「子ども」というテーマに出会うきっかけとなった。

子どもの問題は実は難しく、誰でもが「子ども時代」を過ごしてきただけに、

時に、自身の経験に基づき強いバイアスがかかる。条約で示された権利（特にその考え方）を理解することは、子ども自身にも大切であり、これを保障する大人社会においても大切である。そんな経験は、川崎市の子どもの権利条例作りで積み重ねられた。どんなに小さい子どもであっても、その考えに耳を傾けることの大切さを実践的に学び、子どもの意見をしくみに翻訳していく作業、そんなことが繰り返された。今は、行政法の研究が底流にありつつ、子どもの問題への取り組みがウエイトを占めている。それだけ社会のニーズが高い。いじめ、虐待、行き場のない子どもの支援、子どもからの相談とその解決に向けた支援。そんなことに多くの時間を割いている。事件を通じて、子どもとの出会いも多い。

次号は・・・現代法学部

高平 奇恵先生です。

学生記者の視点

『生活保護家庭 進学への高い障壁』

大学の長い夏休みが終わり、2期の授業が始まりました。私自身普段あまり意識することはないのですが、今授業を受けている方は、学費である50万円以上の大金を支払って大学に通っています。このような中、生活保護家庭が大学に進学する大変さをご存知でしょうか。

そもそも生活保護家庭の子供は大学へ進学することを想定されていないため、大学に入るための入学金や前期授業料など、まとまったお金を用意するのはとても厳しいです。一般的なサラリーマン家庭であれば教育ローンなどを利用することもできますが、生活保護家庭だとそれらを借りることはできません。基本的には高校生のうちにアルバイトをして進学準備金を貯めておかないと、進学はとても難しくなります。

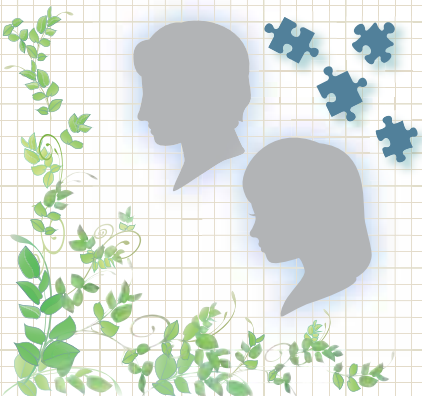
また、入学後も苦労は続きます。大学へ進学すると、生活保護費が6万円ほど減額されてしまうのです。進学した場合、親からの仕送りがないだけでなく、親にお金を渡さないといけない状態になってしまうこともあります。それだけではありません。生活保護を受けている場合は親の扶養に入れないため、それに伴う諸費用も自分で支払う必要があります。また学校に通うための定期代、スマートフォンやWi-Fiの代金など、学費以外にもたくさん費用がかかりますが、それは自分で負担することになるでしょう。実家暮らしでもこういった費用は掛かりますし、一人暮らしだとさらに

費用がかさみます。このような状況下で、奨学金という借金を増やすか、アルバイトの時間を増やさないと生活ができない状態になってしまいます。

大学へ進学する生活保護家庭の子供は多くの借金を抱えるケースが見受けられるため、就職後も返済が求められ、貧困の連鎖を引き起こすリスクも生じます。

また、お金の面以外に、精神的な面でも苦労があります。生活保護を受けていることに対し、負の印象を持つ人もいます。友人や周りの人に自分の現状を話すことができず、悩みなどを打ち明けられないこともあると聞きます。

この話をすると「生活保護で生まれた子供は大学進学なんて考えるな」という意見をもつ人もいるかもしれませんが、その考えは、私は違うと思います。子供は親を選ぶことはできません。もしかしらあなたが生生活保護家庭で生まれた可能性だってあります。その時に同じことが言えるでしょうか。



職員リレーコラム「私の★シゴト」は終了となりました。

川村 墨
経営学部4年



東経大で出会った「生涯の師」への手紙



～大学とは学生と教師の出会いの場～

自由の学府・東京経済大学で生涯の師と出会った学生に思いを綴っていただきました。
先生からの返信も併せてご紹介します。



学生から先生へのメッセージ



やぐち あつし
谷口 惇
経営学部4年



関先生にはゼミの活動を通して
プロフェッショナルな取り組みを教わりました

関先生、私を充実した大学生生活へと導いてくださり、本当にありがとうございます。実を言うとな本意で東経大に入学した私は、入学当初は大学に何の期待もせず、ふてくされながら通学していました。しかし関先生のゼミに所属してから、私の東経大生活は根底から変わっていきました。

2年生で関ゼミへ所属すると、先生は「スケールの大きいすごいことやろよ！」と笑顔で持ち掛け、夢を膨らませてくださいました。しかし、いざ活動が始まると「やりたいと言ったことは責任を持ってやり抜け」「やり方は自分で考えろ」と当初の笑顔はどこへやら…容赦のない指導が始まりました。さらにゼミ生には、外務省後援イベントや学内イベントの主催、英語が堪能なネパール学生との2週間共同生活など、とてもハードルの高いことばかり要求してきます。そのような中、八方塞がりの状況になると「救世主」となる関ゼミの卒業生、他大の学生、アジア中の学生たちが次から次へと登場しました。気が付けば、国内外多くの人々と共同で必死に取り組んでいて、世界中に友達の輪が広がっていました。私にとって貴重な財産となりました。

ある時、私は先生の名前をWebで検索してみました。専門分野は「異文化コミュニケーション、英語学習動機づけ」と。まさに私たちの活動が研究に裏打ちされたものであり、それを知った瞬間、「すごい！先生は本物のプロフェッショナルだ！」と鳥肌が立ちました。東経大で関先生に出会い、人生観が変わりました。私もいつか先生のようなプロフェッショナルになりたいです。卒業後も私の「生涯の師」として、末永くよろしくお願いします。



谷口君、素敵なお手紙をいただきありがとうございました。日々会って話している人からこうして長まったメッセージをいただくと、嬉しさの一方で緊張してしまいますね。

谷口君の仰る通り、思い返せばこの三年間、皆で力を合わせて本当にいろいろなことに挑戦してきましたね。アジア地域を舞台に、その時々目標実現に向けてゼミの枠を超え、国内外の学生たちと共に必死になって取り組んできました。その際、異なる大学、異なる国の学生たちとうまく協働するために、皆が理解できる言語（関ゼミの場合は英語）を用い、異なる文化を持つ「他者」を尊敬する姿勢が常に求められました。「他者」との交流を通じて学びを深めるこの教育手法を私は長い時間をかけて編み出してきたのですが、谷口君には見事に見破られていましたね。

今日の多様性社会においては、自国、自文化の枠組みの中で「外からの多様性を受け入れる」だけでなく、自らに誇りを持ちつつ、自身の「枠組みを飛び出し外へと志向する」ことが求められています。その力を高めるためには、多様な人々と交流し、熟考を重ね、学び続けるしかないと考えています。

「プロフェッショナル」などとてもないです。私は自分をそんな風に考えたことは一度もありません。ただ好きなことを一生懸命にやっているだけ。関ゼミの活動が大好きなのです。つい先日もゼミの取り組みの一つ、ネパール支援のクラウド・ファンディングは、目標としていた支援額の80万円を実現してしまいましたね。驚きました。すごい！15日間にわたるネパールでのゼミ研修の経験を活かし、皆で世界に向かって羽ばたきましょう！



先生から学生へのメッセージ



せき あきのり
関 昭典
全校共通教育センター教授



学生コラム

『第120回葵祭』

葵祭実行委員

濱野 真帆
経済学部4年

葵祭は本年度で記念すべき120回目を迎えます。本学最大のイベントである葵祭は、学生生活における学術・文化・スポーツの発表の場として存在しています。節目ともなる第120回葵祭のキャッチフレーズとして、我々は「大葵晩成」を掲げました。このキャッチフレーズには、今まで葵祭に向けて準備をしてきた方々の努力が実るように、成功するようにという願いが込められています。長いようで短い葵祭の3日間で、企画や展示・模擬店を出るだけ多く廻って楽しんで頂けたらと思います。そして、皆様にとって大切な思い出となれば幸いです。

さて、葵祭ではご来場頂いた全ての方々に楽しんで頂けるような多くの企画や展示・模擬店があります。我々がその中でも特にお勧めするものをいくつかご紹介させていただきます。

まず、展示団体による発表や、多種多様な模擬店です。展示発表では、ゼミやサークルにおいて日頃の活動の成果を発表します。模擬店では様々な食べ物を売店します。ご来場頂いた皆様が無かったことや、これまでに食べたことがなかったもの等の発見があるかもしれません。また、廻って頂く中で、学生たちの活気ある姿や協力している姿、頑張っている姿もご覧になって頂けたらと思います。皆様にゆっくり廻って頂けるよう、休憩スペースも設けておりますので是非ご利用下さい。

次にお勧めするのは、美瑛町フェア企画です。この企画は北海道美瑛町の新鮮な野菜を販売する、毎年人気の企画となっています。単に野菜を販売するだけでなく、ジャガイモのつめ放題や、トマトジュースなども取り揃えています。是非足をお運び



←葵祭実行委員会ウェブサイト



頂き、美瑛町の美味しい野菜を食べてみてください。

他にも芸能人企画やステージ企画、アトラクションや喫茶店など、ここでは紹介しきれないほどたくさん企画があります。各企画の詳細は葵祭公式サイトにてご覧頂けます。また、葵祭期間中の情報は葵祭公式Twitterなどで発信する予定です。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

校友センター(父母の会・葵友会)からのお知らせ

活躍する卒業生と出会うチャンス!『業界別懇談会』等を活用して一歩先へ!!

きゆうかい

葵友会・大学コラボ企画 若手交流会

葵友会は東京経済大学を卒業した皆さん全員が会員となり、卒業生交流・支援や、卒業生の協力を得て大学をさらに良くしていくための活動を行う組織です。今年も卒後10年以内の若手卒業生を対象とした講演会と懇親会に、大学・父母の会の協賛を得て、学生の皆さんも参加可能となりました。

就職を考えている皆さん、就職決定後の「一歩先」まで考えてみませんか?悩みながらも日々仕事に奮闘している若手卒業生と一緒に、社会で活躍する先輩の約40年の軌跡を聞きながら、卒業後に始まるご自身の長いキャリアについて考え、改めて自分の就職活動を見つめる「機会」にしてください。

日 時: 11月22日(金) 18:30~(18:00受付開始)

場 所: アルカディア市ヶ谷(私学会館)

第一部: 講演会「26歳の自分に伝えたいこと」

講師: 河村宣行氏(1977年本学卒、株式会社不二家 代表取締役社長)

第二部: 懇親会(立食パーティー)

参加費: 無料(父母の会が補助)



河村社長と不二家のマスコットキャラクターベコちゃん

※右のQRコードを読み込み、申込んでください。卒業生の申込とあわせて定員になり次第締め切ります。



あおい

葵流通会懇談会

商社、小売、物流など流通業に関わる卒業生の団体です。毎年多くの学生が参加し、多くの先輩たちと出会っています。業界全体が見えづらからこそ、生の声を聞く価値があります。

日 時: 11月7日(木) 18:00~

場 所: アルカディア市ヶ谷(私学会館) 参加費: 1,000円

※申込はキャリアセンター(6号館2F)まで

あおい

葵金融会懇談会

金融関係の仕事に関わる卒業生が所属する団体。学生の人気も高く、就職希望者の多い業界の一つです。学生にとって未知の世界で活躍する卒業生の話は、とてもためになります。

日 時: 12月7日(土) 12:00~

場 所: アルカディア市ヶ谷(私学会館) 参加費: 1,000円

※申込はキャリアセンター(6号館2F)まで



創立 120 周年記念事業の一環として、駅伝大会での活躍の支援をしています。

第 96 回 箱根駅伝予選会 ～一緒に応援しましょう！

10/26(土) 9時35分スタート

陸上自衛隊立川駐屯地 ～ 立川市街地 ～ 国営昭和記念公園



集合場所

国営昭和記念公園

※立川口・入口付近 (JR立川駅北口徒歩約15分)

集合時間

①卒業生・ご父母の方 8時00分

②教職員・学生 8時30分

受付手順

陸上競技部の学生が幟旗を持って入口付近で受付します。
公園無料入場券、選手紹介チラシ、幟旗セットを受け取り、引率者の指示に従って応援場所にまわって移動していただきます。

※先着約300名までは無料入場券がありますが、それ以降は有料(450円)での入場となります。



あなたの声援が選手たちのエネルギーとなります！

TKU古本募金

みなさまの読み終えた本が、奨学金として、
東経大生の学業を支えます。

読み終えたあと置き場に困っている書籍、視聴しなくなったDVD・CDなどございませんか？

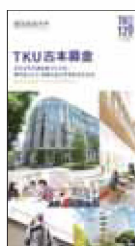
お部屋の整理やお引越しの際などに、ぜひご協力ください。

※5点以上は送料無料です。

※一度のお申し込みにつき、段ボール箱3箱までご寄付いただけます。

2017年12月より開始いたしました「TKU古本募金」へは、2019年9月末現在、
延べ218名・786,390円のご寄付を頂戴いたしました。

みなさまのご厚情に深く感謝申し上げます。



TKU古本募金

検索

電話またはWEBサイトよりお申し込みください

STEP 1 梱包

書籍・DVD・CD等を段ボール箱に詰めます。
電話申込の場合は、申込書(*1)を記入し同梱します。

STEP 2 WEB/電話

【WEB】WEBフォームに必要事項を記入し、
お申し込みください。

【電話】下記へ電話し「東京経済大学・TKU古本募金
に申し込みたい」とお伝えください。

受付電話番号：0120-826-292

STEP 3 集荷

指定の時間に宅配業者が集荷に伺います。
※5点以上ご提供いただいた場合は、送料無料です。

STEP 4 寄付

ご提供いただいた書籍等は、提携会社バリューブックス
に買い取られ、その売却代金は、学校法人東京経済大学
に寄付されます。

*1) 申込書は、パンフレットまたはWEBサイトに掲載しています。

【お問い合わせ】東京経済大学 図書課
library@s.tku.ac.jp / 042-328-7764